



今年も残すところ1ヵ月を切りました。11月下旬には北海道で積雪が観測されたとテレビで報道されていました。ここ鶴岡でも雨と混ざり合った霰が降り、雪が降る前の天候の現象として雷が地面に落ちたかと思う位の音と光は毎年驚きが絶えません。こうした厳しい冬が作物の育つ土壌を作り上げる自然のちからはとても大きく感じられます

大豆生産にはいずれ必要とされる取付機械『浅耕プラウ』
大手農機具メーカー様から1日限定で是非お試しを!!とお借りました。試乗の感想…
「いいかも」「ほしい」「でも今年は買えない」
「さようなら…」社長のお言葉頂戴しました



大豆の刈取後の圃場。刈り取りした圃場の表面の土と中の土を入替する為の取付機械をお借りました。斜めに設置してある機械を操作運転するには技術が必要だそうですが作業を見る側は何故か何度見ても見返してしまうほど引き込まれました

【綺麗なお米をお届けしたい】

更に綺麗なお米を皆様へお届け致したく、「色彩選別機(左写真)」を購入しました。籾から玄米にする際も大型の色彩選別機を使用していますが、玄米、精米した物から青米や着色、変色した米(右写真)を光センサーで取り除く作業を皆様へ発送する前の段階で行っております。せっかく皆様から御予約頂い大切なお米をいつも綺麗な状態で送りたい…社長はじめ従業員から皆様への強い思いをお米と共にお届け致します!!



農作業の様子をご紹介します その8 圃場編…作業工程⑭ 大豆の刈取

大豆の刈取時期は、9月号でお伝えした右の写真の大豆の葉が枯れ落ちた後、莖や莢の乾燥状態を確認した後、刈取を行います。アシスト所有の大豆コンバイン2台をフル活用しています。雪化粧した鳥海山も抜けるような青空にとっても映えておりました。



鶴岡のお米
お召しあがり下さいませ

農作業の様子や庄内、鶴岡を
独自のコメントで毎月発行する
チラシで届けしています

生産者 株式会社 アシスト

少しずつ作業状況をお伝えして参ります。どうぞ時間の許す限り御拝読いただけたら幸いです。